

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	びかいち		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名 (7家庭)	(回答者数) 6家庭
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な専門性を持つ職員が日々子どもたちの支援に関わる体制づくり	定員が多い（35名/1日）ため、多くの職員が在籍していることで、多様な専門的な視点による支援を実施することができます。指導員は児童指導員、保育士、小中高教諭等、専門職は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、さらに看護師も配置していることで、開所日には必ず指導員、専門職、看護師が複数名ずつ子どもたちの支援に関わるができる体制づくりに取り組んでおります。	在籍している職員が継続的に子どもたちの支援に関わることができる環境づくりに取り組むことで、子どもたちの特性への理解を深め、指導員・専門職・看護師間での連携を高めることで、より支援の質を高めることができるように取り組んでまいります。
2	子どもたちの活動等のスペースを十分に確保すること	施設は2階・3階に分かれており、2階は床に畳を敷いたゆっくりと過ごすことができる空間に、3階はクッション性のスポーツマットを敷いた運動ができる空間となっております。また、個別指導訓練室や相談室等も多数あり、内容や参加人数によってさまざまな活動に対応することができる空間をご用意しております。	今後は多様な活動を展開するために必要な設備を導入することで、それぞれの空間でできる活動の幅を広げ、子どもたちに提供できる体験や経験を増やすことができるように取り組んでまいります。
3	子どもたちが安心感を持って、楽しみを感じながら通所できる環境づくり	ご利用の子どもたちに職員が担当制で付いております。職員全員がご利用の子どもたち全員の特性を理解し、すべての子どもの支援に関わることができるように取り組んでおります。そのことで、子どもたちにとっては相談できる職員がたくさんでき、子どもたちの判断と一緒に活動する職員を選択できる環境となっております。	支援に関わる職員も含め、施設内での活動について子どもたちが自己選択・自己決定できる環境をつくることで、これからも子どもたちが安心感や楽しみを感じられる場づくりに取り組んでまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の他の子どもと活動する機会の頻度について	学校や児童クラブ等での集団活動に参加できない子どもたちも多くご利用いただいているため、地域の他の子どもとの活動が精神的な負担になることもあります。ただ単に交流する機会を設けるのではなく、ご利用いただいている子どもたちが負担を感じないよう、交流に目的や目標をしっかりと設定し、子どもたちの特性に十分に配慮した交流の機会を提供する重要であると考えております。	子どもたちに必要な交流の機会は同世代だけでなく、さまざまな世代の地域の方々との交流が大切だと考えております。びかいちでは、地域の他の子どもと活動する機会とともに、地域住民や企業の皆様、大学生にも活動に参加していただき、子どもたちが普段の生活の中で関わることがない世代の方々と一緒に楽しく活動する機会を企画・提供できるよう取り組んでまいります。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会等の機会について	さまざまな特性の子どもたちにご利用いただいております。また、課題感もさまざまであるため、一律的なペアレント・トレーニングを実施することが効果的か検討する必要がありますと考えております。	ご利用者の皆様全員に必要な情報は保護者会等を通してお伝えしながら、各ご家庭や子どもの個別の課題感や支援については、随時メールや電話等で情報共有させていただき、必要に応じて面談の場を設けて課題にあわせた情報提供やアドバイス等を行ってまいりたいと考えております。
3	各種マニュアルの策定や非常災害を想定した定期的な避難訓練等の情報発信について	行政の所管部署ともご相談しながら各種マニュアルを策定したり、定期的な避難訓練を実施したりしています。また、それらの内容を定期的に通信やホームページで発信しておりますが、保護者の皆様にはしっかりと伝わっていない現状があります。	通信等での発信や保護者会での説明だけでなく、各種マニュアルや避難訓練の実施のみを扱ったお手紙等のご案内を発信していくことで、他の情報に埋もれず、保護者の皆様にはしっかりと情報をお伝えすることができる仕組みづくりに取り組んでまいります。